

海事産業見学会行程

○参加校

御船町立七滝中央小学校

4年生15名、5年生12名 引率先生5名 計32名

○実施日

10月31日(木)

○当日の行程案

- 8:15 七滝中央小学校発(通学バス8:00着)
(九州自動車道経由)
- 9:40 日立造船(株)有明工場着
【施設見学】
- 10:20 出 発
- 10:30 ジャパンマリンユナイテッド(株)有明事業所着
【施設見学】
- 12:00 出 発
- 12:05 金魚と鯉の郷公園着
(昼食)
- 12:35 出 発
- 12:45 長州港着
- 12:55 出 発(徒歩で乗船)
【有明フェリー船内見学】
- 13:40 多比良港着(乗船したまま)
- 13:55 出 発
【救命胴衣着用体験】
- 14:40 長州港着
- 14:45 出 発
(九州自動車道経由)
- 16:10 七滝中央小学校着(通学バス16:45発)



これから日立造船の工場見学！



日立造船の2万馬力の船舶用エンジン！



船舶用エンジンを背景に集合写真



JMUで大型バルクキャリアの模型を見学



JMUで建造中の船舶を見学



説明者は小学校の先輩！一緒に集合写真



有明フェリーの船橋でレーダーの説明を受ける



有明フェリーで救命胴衣の着用体験



有明フェリーで制服制帽の着用体験

令和2年2月13日 海事産業見学会（九州国際大学）

見学ルート



(往路)九州国際大学 9:30出発
北九州都市高速道路利用(28km) 大谷IC~春日IC
所要時間 約40分 09:30~10:05

(復路)九州国際大学 16:20到着(予定)
北九州都市高速道路利用(25km) 大里IC~大谷IC
所要時間 約40分 15:40~16:20

海事産業見学会の目的

海に囲まれた「海洋国家」である日本においては、多くの資源を海外から輸入するとともに、多くの製品を海外に輸出しており、貿易量の大部分を海上輸送に依存しています。

また、海上輸送を含む海事産業は、国内の物流においても、物資の保管・輸送に大きな役割を担っており、安定的な海上輸送や物資の保管、造船産業など、国民生活において必要不可欠な存在となっているが、その認知度は低く、近年の少子高齢化社会において、海事産業は総じて労働力の高齢化の進行が顕著で、若年層の人材確保が喫緊の課題となっています。

このため九州運輸局では、「九州海事産業次世代人材育成推進協議会」を設置し、関係者との連携により戦略的に人材の確保・育成に取り組んでいます。

今般、大学生を対象に物流の現状及び重要性を理解してもらい、海事産業への就職志向を高めることを目的として実施するものです。

令和2年2月13日 見学会行程
〈大学生13名、教職員2名〉

見学会 詳細

- 集合場所 九州国際大学（研究棟前） ※9:15 集合

9:30 出発

北九州都市高速道路利用（28km・約40分）

大谷IC～春日IC

10:05 到着



- **倉庫業 <門菱港運(株)> 見学**

10:10~11:00 「営業倉庫」見学

<見学 50分>



11:05 出発（バス移動）

11:15 到着



- **太刀浦コンテナターミナル <見学・出前講座>**

11:15~11:30 ヤード内車窓見学 <見学 15分>

● 関門コンテナターミナル(株)同乗説明



11:35~12:15 第1部

<講座 40分>

● 北九州市港湾空港局

「(仮)北九州港の概要と物流拠点戦略」

12:15~13:00 昼 食



13:00~13:50 第2部

<講座 50分>

● 株式会社ジェネック

「(仮)物流の仕組み」

13:55 出発（バス移動）

14:15 到着

- **海運業 <オーシャントランス(株)> フェリー見学**

14:20~15:40 「フェリーりつりん」(12,636総ト)見学

<見学 80分>

15:40 出発

北九州都市高速道路利用(25km・約40分)

大里IC～大谷IC



- 16:20 到着 九州国際大学（研究棟前） ※解散



海事産業見学会

(令和2年2月13日 九州国際大学)

① 営業倉庫の見学 (門菱港運株式会社「太刀浦 A・B 倉庫」)



② 太刀浦コンテナターミナル (ヤード内見学)



太刀浦コンテナターミナル（ターミナル見学）



太刀浦コンテナターミナル（物流講座）



③ カーフェリーの見学（オーシャントランス株式会社「フェリーりつりん」）

